



17:1 イスラエル人の全会衆は、主の命により、シンの荒野から旅立ち、旅を重ねて、レフィディムで宿営した。そこには民の飲む水がなかった。

17:2 それで、民はモーセと争い、「私たちに飲む水を下さい。」と言った。モーセは彼らに、「あなたがたはなぜ私と争うのですか。なぜ主を試みるのですか。」と言った。

17:3 民はその所で水に渴いた。それで民はモーセにつぶやいて言った。「いったい、なぜ私たちをエジプトから連れ上ったのですか。私や、子どもたちや、家畜を、渴きで死なせるためですか。」

17:4 そこでモーセは主に叫んで言った。「私はこの民をどうすればよいのでしょうか。もう少しで私を石で打ち殺そうとしています。」

17:5 主はモーセに仰せられた。「民の前を通り、イスラエルの長老たちを幾人か連れ、あなたがナイルを打ったあの杖を手にとって出て行け。」

17:6 さあ、わたしはあそこのホレブの岩の上で、あなたの前に立とう。あなたがその岩を打つと、岩から水が出る。民はそれを飲む。」そこでモーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのとおりにした。

17:7 それで、彼はその所をマサ、またはメリバと名づけた。それは、イスラエル人が争ったからであり、また彼らが、「主は私たちの中におられるのか、おられないのか。」と言って、主を試みたからである。

イスラエルはモーセに敵対しましたが、それは神への挑戦でした。救いは神様によってもたらされましたから、当然、いつでも神様に（新約時代であ

ば聖書にみことばに）従うべきですが、私たちはしばしば自分勝手な判断や願望に囚われてしまいます。神の權威を否定することは自分の救いを否定することになるのに…。苦しいことがあってもそれは神様に導かれている、栄光へのプロセスです。主とその導きに従いましょう。

モーセに敵対し神に不従順であったイスラエルこそ打たれるべきであったのに、神はその代わりに岩を打つよう命じました。それは十字架の型です。身代の十字架から命の水が流れたのです。また争いの中にも十字架が立てられるときモーセが打たれるのではなく、イエス様が代わりに打たれたあの十字架によって、解決が与えられました。争いによってではなく、十字架で解決を与えられましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

